



インスピレーションになるろ

Rotary Club of SUGITO

杉戸ロータリークラブ週報

2018～2019 年度 RI のテーマ

ROTARY: BE THE INSPIRATION



会長 仁部 前崇 幹事 田中 昌夫

<http://www.sugito.club>

第2465回例会 2018年9月20日

点鐘

ロータリーソング

会長の時間

仁部会長

我等の生業

仁部会長

今月は 2 週ほど公務のため欠席させて頂きました。お蔭さまで特別委員会も終了し 28 日に審議・採決を経てスムーズに決算も終了することになっております。



本日は 9 月 20 日彼岸の入りですから、住職として本来ならこんなことをしている場合ではないのですが・・・(笑)。暑さ寒さも彼岸までと昔は言いましたが、夏至にしても冬至にしても昔は半月ほど先だと思っていましたが、最近は暦の通りになってきました。明日は 16 度くらいになるそうですが、人間は 2～3 日涼しくなるとすっかりそれに慣れてしまう都合のいい身体をしますので、皆様体調にはお気をつけください。

私は議会が終わると家に帰りまして草取りと塔婆書きが待っております。私が子供の頃は、8 月のお盆に草取りをすると彼岸まで誤魔化しがきいたのですが直ぐに立派な草が生えてきます。冬は一度草取りをすればしばらくなくて済みました。しかし、今ではお正月に向けて 12 月にもう一度草取りをしなければなりません。温暖化の影響なのでしょう。また、今年はどこから種が飛んでくるのか横に拡がる新種の草が生えて手こずっています。草も進化をするんですね。家では年に 2 回植木屋を入れますが、それだけでは足りないのので後の 2 回は自分で刈っています。つつじが 25 本、ツゲが 30 本ありますが、大学を卒業して 35 年間も植木屋をやっていると、何かの時にはこちらでも食べていけそうな気がしています(笑)。

私は「喜楽甲子園カップ」という野球大会の後援をしております。先日、土曜日曜に大会がありました。杉戸・宮

代交流少年軟式野球大会と称する中学生の大会です。町内の中学校野球部の状況ですが、杉戸中学校の軟式野球部は、部活としての活動は難しくなり杉戸ベースボールクラブとして部活の延長のクラブチームとして活動している状況です。また、広島中学校は今回 9 名の参加でしたが、1 回戦で 1 人が熱中症となり棄権になりました。東中学校は現在、部員不足で休部状態です。では、部員がサッカーに流れているのでしょうか？そうでもありません。サッカー部も学校ではなくクラブチームが盛んです。

数年前に広島中学が優勝した年がありました。当時部員数 20 名でしたが、相手チームは 9 名の幸手中学校でしたが生徒は疲れてしまって決勝戦までもたないんですね。しかし、今年棄権した広島中学校の相手は幸手中学校でした。春から浦和学院の野球部だった先生が顧問となり、現在女性 3 名を含めた 20 名になっています。この 3～4 年で逆転してしまいました。もしかしたら、現在廃部の危機にさらされている野球部も数年後には、盛んになっている可能性もあります。

私が子供の頃は、小さい頃からサッカーボールを使ったキックベースなど蹴ったり投げたりして遊びました。今ではサッカー少年が、キーパーをする時に全くボールを投げられないということもあるようです。同じスポーツしかしていないということですね。

中学校では部活動をとおして身体を鍛えたり、友達をつくったりするべきだと思っています。私は子ども達のために、これからも中学校の部活動を支援をしていきたいと思っています。



例会日: 木曜日 12:30～13:30 例会場: 埼玉懸信用金庫 杉戸支店 2F

事務所: 杉戸町杉戸 2-15-21 埼玉懸信用金庫 杉戸支店 2F

TEL&FAX 0480-31-0031

幹事報告

- 春日部南 RC より、平成30年11月3日、4日に開催される第22回春日部市内高等学校野球大会の案内が届いております。部門より、西日本豪雨災害義損金協力のお礼と報告が届いております。募金総額3,331,402円を9月第3日、7日に2670地区、第2690地区、第2710地区へ送金した報告です。
- 春日部西 RC より、真野多加史会員の訃報が届いております。通夜9月20日午後6時より、告別式は21日午前11時より、セレモニー春日部ホールです。

田中幹事



セミナー報告(管理運営)

7月7日さいたま文化センターにて管理運営部門セミナーに参加をしました。地区では特にRLI(ロータリーリーダーシップ研修会)に力を入れており是非参加してほしいということです。しかし、まだ受けてない人が多いのが現状で、会長幹事、会長エレクトなどクラブの中心を担っている人は特に受けて欲しいということです。また一度受けた人も再確認として再度受けることもできます。

折原(正)会員



そして、各クラブで行っていた学友管理を地区全体で取りまとめ、名簿の作成をするということです。

セミナー報告(青少年奉仕)

7月15日大宮ソニックシティにて青少年奉仕部門セミナーに参加をしました。参加者は150名ほどです。当クラブの折原会員が司会をし、また戸賀崎さんが活躍をしていました。青少年部門は、4委員会です。31人の委員がいます。財団が6委員会です。29名ですので、地区では一番の大所帯です。

栗原会員



青少年育成インターアクト委員会は、12歳から18歳の中高校生が2月3月に1週間、韓国に行ったり来たりする事業が1番大きな活動でその報告が学生からありました。同じローターアクト委員会では、18歳から30歳までの活動報告がありました。

ライラ委員会は、今年は屋久島に行くのでその説明と、昨年のライラ研修の発表がありました。

青少年交換委員会では、交換留学生として派遣された

子供達(ローテックス)の発表と青少年交換のスペシャリストの講演がありました。その中で、青少年交換とはもともとロータリアンの子弟を交換することから始まりそれが原点であるという話がありました。留学生が来日中に何かトラブルを起こした時には、身内という本来の気持ちを持って対処してほしいというのが大変印象的でした。

セミナー報告(米山奨学会)

五十嵐会員

7月22日ラフレさいたにて行われた米山奨学部門セミナーに初めて参加しました。100名以上の参加者がいたと思います。一番印象に残ったのは、杉戸RCは毎年100%を達成していますが、他のクラブでは10%と言うクラブもあることです。また、一部の会員が多額の寄付をするのではなく、会員皆で寄付をして100%を達成してほしいということでした。



講演会では、10年前に奨学生だった香港の方の話で、今香港では現金ではなく電子マネー決済が主流であるそうです。私などはまだ現金の方が安心しますが、今の子供達の時代では電子決済が普通になるはずで、私は今PTA会長を務めていますが、今の子供達は外国に出て行くことをあまり考えていません。米山奨学生は日本に来て積極的に勉強している姿を見て自分たちの子どもたちもこのような機会を与えたいと思いました。私たち親世代から変わらなければならないとも思いました。自分で事業をしているので、ロータリーに参加する時間はありませんでしたが、機会があればまたセミナーに参加したいと思います。

セミナー報告(R財団)

戸賀崎会員

7月28日パレスホテル大宮にてR財団部門セミナーがありました。財団のセミナーには初めて参加をしました。地区役員として青少年奉仕部門のセミナーに数年参加していましたが、財団はまったく違う雰囲気でした。私は青少年交換委員をしばらくやっていたので、どうしても財団奨学生や学友に興味を持ってしまいますが、彼らの報告はとても興味深いものでした。同じ留学であっても文化交流や経験だけでなくもっと目的を持った留学であることに感動を致しました。



そして、地区補助金運営委員会はとても分かりやすく説明していただき大変勉強になりました。

出席報告

折原(正)会員

会員数	出席	欠席	免除	MU	出席率
42	21	21	0	10	73.81%

スマイル報告

折原(正)会員

仁部会長: 暑さ寒さも彼岸まで・・・夏の疲れを美味しい秋の食べ物で・・・。身体のお手入れしっかりと!!

田中幹事: セミナー報告ありがとうございます。

関口会員: 同期ガバナーの奥様が亡くなりました。毎年少しずつ減ってきて淋しいかぎりです。

矢島会員: リーマンショック後 10 年未だ中小企業の景気は浮上しません。

深瀬会員: 中川、古川会員、卓話ありがとうございます。

長岡会員: しばらくぶりです。

栗原会員: 先週、板橋プロレスを見に行き、昨日は千葉マリンスタジアムで野球を見て来ましたが、最近 8:00 には眠くなるので両方寝てしまいました。

第2466回例会 2018年9月27日

移動例会(和泉屋)

点鐘

仁部会長

ロータリーソング

それでこそロータリー

お客様紹介

杉戸町教育長 伊藤美由紀様

会長の時間

仁部会長

広島東洋カープ V3 地元で 27 年ぶり胴上げを致しました。4/24 鉄人衣笠選手の訃報の日から首位独走にて優勝です。緒方監督座右の銘は、「任せて任さず」です。部下に大胆に仕事を任せる一方、状況を把握し時には的確に助言を与えることが責任者の務めということです。本日は資料をお配りしていますのでご覧ください。



「断を下す」一筋の道を一筋に、歩むのも容易ではない。あれこれと戸惑い、思い悩んでもただ立ちすくむだけである。自分一人なら、長い道程、時には立ちすくむのも良いが、自分の後に続く人がいるとしたら、愚痴はこぼせない。進むもよし、留まるもよし要はまず断を下すことである。それが最善の道なのかはわからぬが、断を下さないことが、自他ともにこのましくないことだけは明らかである。人生を歩む上において、経営の上において、町の運営において、それぞれ今一度、断を下すことの尊さを省みたい。

武井会員: アグリパークの例会場大変良好です。

真中会員: 久しぶりで渡辺さんのお元気な顔を拝見出来て私も元気回復です。

深瀬会員: 秋らしくなりましたね。

下津谷会員: 70 歳以上が 20.7%ということです。小生 77 歳、仲間が多いのは心強いです。

渡辺(良)会員: セミナー報告、有難うございます。

折原(弥)会員:五十嵐会員:渡辺(嘉)会員:舟越会員:

中野会員:小柳会員:戸賀崎会員:武井会員:石塚会員

本日のスマイル

スマイル本日投入額	26,000円
スマイル累計額	346,000円
スマイル目標額	1,500,000円

ご協力ありがとうございました

「命を下す」

自分の思いを人に命じて、その命のままに自在に人が動くことは、事を運ぶ上において、きわめて大事なことであるが、それになれて命がなければ人が動かないことになれば大変である。こんな硬直した状態では進歩も発展も生まれぬ。そのためには、命を下す前に、まず人の言うことに耳を傾け、聞くことである。聞いたうえで問う事である。そして、そこに我が思いと異なる場所があれば、その気づかざる点を気づかし、思い至らざる点の是非を説く。そうした納得の上に立って、断固、命を下さねばならない。命を受ける人に納得があるということは、その人の知恵がそれだけ高まったということである。訳のわからぬままに命に従わせあては硬直するだけである。

「七転び八起き」なんで？七転八起(しちてんはつき)

「転」は新字の当て字で、元々は「顛」たおれる、将棋のように裏表交互にひっくり返ることを意味 多くの失敗にもめげず、その度奮起し立ち上がる 人生には浮き沈みが多いこと。「七転八倒」転げまわってもがき苦しむ 表から七回ひっくり返った八回目は表を向く 仏教的: 生まれたその日から自分の足で歩ける人はいません。大人たちの手で優しく守られいつか自分で立ち上がる日を迎えます。この時の一回分をカウントして八起き・・・信じるかはあなた次第です。

幹事報告

- 青少年奉仕部門インターアクト委員会より、大韓民国 3750 地区での高校生海外研修派遣団員の募集の案内が届いております。(2019年3月23日～28日5泊6日)
- 管理運営部門より、平成30年11月30日(金)9:00大宮ソニックシティにて開催される RLI パートII の案内が届いております。

田中幹事



米山寄付者表彰・新会員紹介者賞状



米山功労者 廣井慎一



田中昌夫 古谷松雄

卓話

杉戸町教育長 伊藤 美由紀様

本日は例会の貴重なお時間を頂きありがとうございます。本日は杉戸町の教育についてお話しさせて頂くつもりですが、中々頭の中でまとまらず、慌てて作った資料をもとにお話しをさせていただきます。



まず初対面の方もおりますので、自己紹介をさせていただきます。私は学校の先生になりたくて大学へ行き卒業をしました。19年間岩槻で教員を務め、その後春日部市の教育行政と学校勤務を経て、最後の10年間を杉戸でお世話になりました。最初の管理職としてスタートし、勤務致しました。教頭として2年間、役場教育課長という貴重な経験をして2年間、杉戸第三小学校、第二小学校の校長として6年間学校経営をさせて頂きました。

私は教育者になりたくて教員になり、子ども達と共に歩んで参りました。そして、いよいよゴールを迎えるというときに、前任の輪島教育長から教育行政をということで教育長のお話がありました。私は今までこのような話があった時は、決して断ってはいけないということをもっと一にしておりましたが、これだけは1ヶ月考えさせて頂きました。そして昨年の4月お世話になった杉戸町の教育のためになるならとお引き受けすることに致しました。

本日は、国の教育と杉戸町の教育の2部構成でお話しをさせていただきますので、資料に沿って進めて行きたいと思っております。宜しくお願い致します。

7 結びに

教育は、意図的、計画的、継続的に積み上げていく地道な営みです。子供一人ひとりの中にある小さな芽を見取り、寄り添い、育てる仕事です。教師が悩みながらも丁寧に毎日の授業を積み重ね、一人ひとりの小さな成長に感動する場です。その成果は、子供たちの変容にあり、その変容こそが教育への信頼であると信じております。今後とも、杉戸町の教育推進にご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い致します。本日は、ありがとうございました。



2 2020教育改革～未来を見据えた教育大改革

～21世紀の社会を生き抜くために必要な資質・能力が大きく変わります～



急激な社会的変化の中でも、子ども達に、未来の創り手となるために必要な資質・能力を確実に備えることのできる学校教育を実現する

それが、2020 教育改革

出席報告

折原(正)会員

会員数	出席	欠席	免除	MU	出席率
42	21	21	0	10	73.81%

スマイル報告

折原(正)会員

仁部会長: 伊藤教育長、卓話ありがとうございます。今後も町の宝、児童生徒宜しく願い申し上げます。

田中幹事: 卓話ありがとうございます。

関口会員: 伊藤教育長、本日はありがとうございます。教育は国家100年の計ですね。

矢島会員: リーマンショック後10年未だ中小企業の景気は浮上しません。

深瀬会員: 中川、古川会員、卓話ありがとうございます。

長岡会員: しばらくぶりです。

武井会員: アグリパークの例会場大変良好です。

栗原会員: 先週、板橋プロレスを見に行き、昨日は千葉マリンスタジアムで野球を見て来ましたが、最近8:00には眠くなるので両方寝てしまいました。

真中会員: 久しぶりで渡辺さんのお元氣な顔を拝見出来て私も元氣回復です。

深瀬会員: 秋らしくなりましたね。

下津谷会員: 70歳以上が20.7%ということです。小生77歳、仲間が多いのは心強いです。

渡辺(良)会員: セミナー報告、有難うございます。

折原(弥)会員:五十嵐会員:渡辺(嘉)会員:舟越会員:

中野会員:小柳会員:戸賀崎会員:武井会員:石塚会員

本日のスマイル

スマイル本日投入額	29,000円
スマイル累計額	375,000円
スマイル目標額	1,500,000円

ご協力ありがとうございました